

## ■ご挨拶

# 代表理事就任のご挨拶

日本風力発電協会 代表理事 **高本 学**  
(株)日立製作所 電力システム社 電機システム事業部長



### はじめに

この度、日本風力発電協会（JWPA）の代表理事を努めさせて頂くこととなりました日立製作所の高本でございます。

前任の永田前代表理事におかれましては、4年の長期にわたり、卓越したリーダーシップでJWPAの国内外における存在感・信頼感の確立に奔走頂きまして大変有難うございました。心から感謝申し上げます。そのような観点から、大変な重責を感じてはいますが、協会員皆様のお力をお借りして、更なるJWPAの発展に全力で対応して参ります。何卒宜しくお願い申し上げます。

### JWPA 活動の方向性に関して

2012年、固定価格買取制度（FIT）が施行され、風力をはじめとする再生可能エネルギーの導入促進の期待が大きく膨らみましたが、FIT高価格設定と設置工事の容易性で太陽光の設備認定量に大きく水をあけられている現状にあることは周知のとおりです。

勿論、風力発電設備の環境アセスが長期間を必要とするなどの課題が存在することは承知しており、評価期間短縮のための課題検討の実行や各種規制緩和の検討など、関係省庁への提言を実行することにより一定の成果を出してきました。また、昨年は落雷やその他の要因による風車トラブルが多く発生し、近隣住民の方々や自治体・関係省庁へご心配をおかけしました。これらの風車トラブルの原因・再発防止策の提言など企業間の壁を越えた活動もJWPAとして実行してまいりました。

しかしながら、これらの活動が協会員一部の方々のご負担になっていることも否めません。我々風車業界に携わっている企業として、是非、主体的に、幅広い知見から、スピード感を持って対応していきたいと心から願っています。大変難しい命題ではありますが、JWPAの更なる進化のために協会員皆様のご協力を頂きたく宜しくお願い申し上げます。

### 風力導入促進のための課題と対応策

今年度、JWPAでは、2050年度推定電力需要量の20%以上を風力発電から供給することを目標として、7,500万kWの長期導入目標を設定致しました。これは2012年度設定の5,000万kWを大きく上回るものであり、よりアグレッシブな目標となっています。この目標を達成するためには大きな課題が存在しますが、下記の解決施策などを一つ一つ検証し、提言・実行に移していきたいと考えています。

- (1) 地域内、地域間送電線の熱容量不足解消
- (2) 電力系統平準化運用を目的とする広域運用の導入
- (3) 電力貯蔵設備の新規導入など風力発電の弱点を補完する調整電源確保
- (4) 気象予測制御などを活用した電力供給計画への反映システム構築
- (5) 最大出力抑制、出力上昇率制御運転機能など高機能化した風車制御技術の導入

上記に関連する委員会等へ積極的に参画して意見交換を実行し、解決のための主体的プレーヤーとして活動していきます。

また、環境アセスの効率的・効果的な予測・評価手法を目指して、重点化すべき環境項目検討、既存モニタリングデータ活用、事後モニタリング手法検討などを積極的に実行してまいります。更に地域住民の方々への丁寧な対応や正しい知見・情報の伝達など情報発信源としての役割も十分認識しながら活動したいと考えています。

### 最後に

一般社団法人 日本風力発電協会（JWPA）は、会員数が250社を超える大きな協会となりました。エネルギー基本計画改定の閣議決定により、日本の電力電源構成における風力発電の位置づけは益々重要性を増しています。風力発電事業に携わるものが、社会的責任（コンプライアンス）を十分認識して、積極的に社会貢献を果たすという姿勢を大切にして、協会活動をより活性化したく皆様のご協力とご支援をお願い致します。